

標題 | 松江ゴールデンパールメロン研究会が設立されました。

(ダイジェスト)

3月21日（土）に、生産拡大等を目的に松江ゴールデンパールメロン研究会が設立されました。メンバーは生産に取り組む2社と販売に取り組む1社と少人数ですが、島根県オリジナルメロン「ゴールデンパール」の生産、販売に一体となって取り組みます。

3月21日に松江ゴールデンパールメロン研究会が設立されました。メンバーは生産に取り組む2社と販売に取り組む1社の合計3社です。

松江市内では、令和元年度は1生産者と1販売者がゴールデンパールの生産、加工、販売に取り組みました。令和元年8月に東京で開催されたアグリフードEXPOに出展した効果もあり、令和2年度は新たに3社との取引が開始されると見込まれています。そこで、令和2年度からは生産者が1者増えることとなり、生産者が増えても高品質なメロンを安定して供給するため、また生産から販売まで意識してそれぞれが生業に取り組むため、本研究会を発足する運びとなりました。

設立総会では、生産者から「栽培が難しいメロンではあるが、A品だけでなくB品の行先まで確保されているならば、安心して取り組める」といった意見がありました。また、新しい加工品の試食をし、生産者が積極的に意見を述べる姿も見られました。

松江ゴールデンパールメロン研究会では、令和2年度はハウスの環境制御データの共有による栽培技術の向上や、新規加工品の提案、開発に取り組む予定としています。

当普及部は、生産者の所得向上につながる品目に育つよう、支援していく所存です。



設立総会の様子



試作した新規加工品（ゼリー）